

寺子屋ふれあい通信

第8号

2019(令和元)・12・15
発行 稲門寺子屋西東京
理事長 金子正男



ごあいさつ

寺子とともに成長する寺子屋

理事長 金子正男

私たちの寺子屋は、2009年に出発して十年がたちました。「寺子屋」は、寺小屋ではなく、寺子の家という意味です。「寺子」とは、江戸時代の寺の塾のような寺子屋に通う子どものことです。早稲田大学には、社会連携課という部門があり、学内の学生に対する教育以外に、大学施設のある東京都新宿区、西東京市、埼玉県所沢市、本庄市などで、地域と連携したいろいろな取り組みを行っています。

私たち西東京稲門会（西東京市在住等の早稲田大学卒業生の団体）も地域に役立つことができなかと相談してできたのが、「稲門寺子屋西東京」です。開講当時は指導者の希望が少なかったものの、学外もふくめ翌年から多数の協力を得て、現在22人ものボランティア指導者を有しています。

生徒は近年40人前後で推移しており、一人の先生が二人の生徒を一年間受け持つケースが多く、学習指導においては、個別に、丁寧に、親切に！一つ一つ理解してから進む！ということをもットーとしています。

寺子屋の姿勢や実績も、この十年のうちに社会的に認められるようになり、西東京市から3年間の助成金を受け、その他、内閣府主唱の日本財団をはじめ、民間の麒麟財団、大和証券福祉財団の助成金も受け、健全財政に努めています。助成金は、経費として教材費・会場使用料・通信連絡費・指導者の交通費などに充てております。

当初からNPO法人の承認をとり、毎月開催の理事会をもとに運営していますが、なにより法人正会員が中核となります。西東京稲門会会員以外もふくめ現在正会員が35人ですが、今後、さらに多くの方々の参加支援を期待しています。



学習の散歩道

環境って、教育と関係ある？

副理事長 山本孝之

「アマラとカマラ」の話をごぞんじですか。1920年、インドのジャングルで狼の穴から恐ろしい形相をした生き物が現れました。生後間もなく狼の子と一緒に育てられた二人の少女、2歳のアマラと8歳のカマラです。言葉は話せず、獣のように四つんばいで歩き、食べ物は口で食べる――。発見の翌年アマラは病死しますが、残されたカマラはシング牧師夫妻から教育を受けます。

10歳で二本の足で立ち、11歳でママ、イエス、ノーと言えるようになり、14歳で両足で歩き、30語を覚え、赤ちゃんの世話ができるようになります。15歳で45語を話し、卵集めの仕事ができるようになりますが、17歳で病死します。

この話はシング牧師の日記として発表され、教育のために環境がいかに重要かを説く例ともなりましたが、その信憑性については多くの議論が噴出しました。ヒトがオオカミに育てられるのは生態上困難だと、科学者らは疑問を投げかけました。少女たちは野生児ではなく知的障害の孤児だったとも考えられ、シング牧師の話はかなり創作がふくまれていると批判もされています。

それでもなお、カマラに対して愛情深く苦勞を重ねるシング牧師夫妻と、徐々に人間に近づくカマラの姿には感動します。人の勇気やがんばろうとする心は、言葉によって育てられます。よりよい環境づくりのために、親子で、先生と生徒で、向き合い、語り合う時間をつくってみませんか。

第8号 CONTENTS もくじ

- 現況報告 ■ 夏休み自立学習教室・・・2
- 寺子屋だより・・・3
- 各教科より ■ 事務局より・・・4



げんきょうほうこく 現況報告

れいわ げんざい
(令和元年 10月現在)

当寺子屋の授業は、下記の通りです。

開講日 毎週火・水・木・土

時間 ① 17:00~20:10 (火・水・木)

② 9:00~12:00 (土)

場所 田無総合福祉センター (火・水・木)

東伏見ふれあいプラザ (土)

講座数 35 講座 指導者数 22 名

生徒数 31 名 (小学5年生~中学3年生)

教科 国語・算数・英語・数学

進路 昨年度中3卒業生 13 名のうち、都立高校
10 名 (立川高校 1 名)、私立高校 3 名進学



夏休み自立学習教室

今年も暑いなか、**熱く開催**

理事・指導者 竹森英次

今年も、夏休みの終わり 6 日間に、「夏休み自立学習教室」を開催しました。ほとんどの生徒が参加し、**参加率は約 75%** (25 名/33 名) に達しました。小学生は国語・算数、中学生は英語・数学と、2 科目受講を可能としました。

自立学習教室の目的とは

この“自立学習教室”は単なる学習教室とは違い、「自分でどのように学習して行くか」という学習方法を身につけるために開設しています。

生徒たちは、配布された解答・解説付きの教材で自分の苦手だと思う単元の問題を解きます。採点も自分で行い、間違えたところについて「なぜ間違えたのか」「同じ間違いをくり返さないためにはどうしたらよいのか」を考えます。次に解説を読んで間違えた原因を究明し、解説が理解できなかったところについて先生に質問します。このやり方で、自ら解決するという学習方法を身につけます。**先生の教えるを待つのではなく、自分から解決しようとする姿勢を身につけていく**のです。

事前・事後テストで自分の弱点・成長を確認

自立学習教室の前には、**事前テスト**が実施されます。ここで、自分の苦手な単元を把握すると同時に、自分の今のレベルを確認します。終わりに

は、事前テストと同じ内容の**事後テスト**を受けて、自分の弱点の克服、成長の度合いを確認します。

今回、8割がたの生徒が、**程度の差はあるにせよ**確かに成長しました。一方で、わずかですが、評価が下がった生徒もいます。その生徒たちには、「これが最後ではなく、この経験を 2 学期以降に活かしていけばよい」と指導しています。



効果的な授業のために、先生も工夫を

先生たちも、この自立学習教室の成果がよりよいものとなるように工夫を重ねています。今回は、**英語で新しい試み**を実践しました。生徒は、開始時に事前テストの結果をもとに自分で勉強の計画を立て、授業が終わるたびに達成度を記入して先生に提出します。先生は、それぞれの改善点を記入して次の授業でフィードバックする、という流れです。終了後のアンケートでは、「日々のアドバイスがとても役立った」と好評を得ました。

寺子屋の授業を最大限活用し、さらなる飛躍を

生徒の皆さんにお願いです。「寺子屋に行けば何かを教えてもらえる」という受け身的な態度ではなく、「今日は寺子屋で“このこと”について学ぼう」という**積極的な態度で授業に臨んでほしい**です。そのためには、家庭学習が大事です。寺子屋では、一週間に 1 時間半の授業しかできません。たった 1 時間半の授業だけでは、その科目の成績はそう簡単には上がりません。必ず家庭で復習し、その過程で理解できていないところが明らかになることも多いので、それを寺子屋で解決する。こうしたサイクルを、実行するようにお願いします。

最後に、**人はみな平等に、一日 24 時間が与えられています**。その時間をどれだけ有意義に過ごしたかで“人の差”が生まれてきます。このことを忘れずに、これからも、がんばりましょう！！

寺子屋だより



生徒の声 《10月アンケートから》

寺子屋「いいね」と思うのは？

- ・自分のわからないところ、苦手なところを重点的に勉強できる。・0円（ただ）！・みんな仲がいい。・友達も先生も優しい。・ハロウィンやクリスマスの会がある。・先生と一対一や一対二で勉強できる。・いい先生に習っている。・しきりがある。

寺子屋「やだなあ」と思うのは？

- ・遊び道具がない。・宿題がある。・休み時間が少なく勉強が長い。・雨でも自転車で行く。・雷！

寺子屋の先生に「お願い」は？

- ・休み時間を長くして～！・リスニングの環境！

今、いちばん、楽しいことは？

- ・友達と遊ぶ。・学校生活（友達とのおしゃべり）。・運動会の練習。・宿題。・ゲーム。・動画編集。・動画を見る。・「すとぷり」の動画。

今、困っていることは？

- ・早く寝られない。・学校のトイレが臭くて汚い。・運動会の練習の合格の数！・宿題がある。・勉強～！・英語のテストの点数が伸びない。・身長が止まりかけている。・俺の顔。

大きくなったら……？

- ・だれかの役に立つ仕事がしたい。・金持ち。・立派な人間！・考え中……。・工業系の仕事。・医療関係。・サッカー選手。・プロゲーマー。・ユーチューバー。・歌手。
- 一言
- ・楽しく勉強したい。・苦手を克服したい。・来年5年目！これからもがんばりたい。・あきらめたら、そこで試合終了です。



保護者の声 《昨年度アンケートから》

基本的な生活習慣は？

- ・よくあいさつをし、近所の人にほめられました。
- ・時間や約束ごとなどを、よく守っていました。

学習に対する姿勢は？

- ・試験勉強に意欲的に取り組んでいました。
- ・国語だけの受講でしたが、全体に成績が上がりました。主人とも驚いています。文章問題で何を問われているのか理解してきているようです。
- ・やる気はあっても部活と勉強の両立が難しく、つかれて勉強できないこともありました。

寺子屋に一言

- ・少人数制で、子どもに寄り添った指導をしてくださり、信頼関係のもとで学習できるのが寺子屋のよさだと実感しました。子どもの学習意欲が定着して、学力が伸びることにつながったことを、たいへん感謝しております。
- ・とても親身になってくださって、感謝しています。子どもがよく寺子屋の先生の話をするので、よくしていただいているのだと安心できました。



先生の声 《新任のS・T先生から》

4月から小6の国語と算数を担当しています。公務員を長年務めたあと、政府関連機関や民間企業の仕事に携わり、昨年6月に完全に引退しました。そこで、残りの人生を実りあるものにしたと考え、寺子屋の門をたたきました。

指導内容は、学校の授業のフォローのほか、教科書の内容に関連した知識を伝えたり、クイズ形式で算数的思考を鍛えたりなども試みています。

学力向上には、いわゆる頭のよさもさることながら、問題に取り組む集中力、注意力、丁寧さや、学習への意識化と継続する力、自主性・主体性など、トータルな能力が重要です。子どもたちには、大人に成長していくための人間力を養ってほしいと願っています。こちらは子どもたちとのふれあいを通して、元気をもらっているところです。

各教科より ワンポイント^{アドバイス}advice


国語

読みやすい字を書くには？

〈国語〉指導者 片山尚美

「読みやすい字だね」と言われたら、うれしいですね。では、どうしたら読みやすい字が書けるのでしょうか。ポイントは①筆順②バランスです。

①の筆順は、そう、書き順です。正しい筆順を身につけると、自然に整った字が書けると言われています。ひらがなを習う時から、授業で筆順が重視されるのは、このためです。

②のバランスは、書き上がりの字の形です。「時」を「時」と書いたら、一見誤字に見えませんか。字を書くには、上下左右のバランスが大事です。

正しい筆順で、バランスに気をつけて、「時」を書いてみましょう！

算数

数学

ワンポイントなんて無理っ！

〈算数・数学〉指導者 竹森英次

算数・数学の力をつけるためのワンポイント・アドバイスなんてあるだろうか……と悩んだ結果、結論が出ました。簡単なアドバイスで、算数・数学の力はつきません！魔法なんてないのです。

ただ、これだけは言えます。好きになるまでひたすらがんばる。あきらめずに時間をかけてがんばる。そうすれば、必ず成績は上がってきます。

問題を解いたら、間違えたところは、必ず見直しましょう。そして、どうして間違えてしまったんだろう？ 同じ間違いをくり返さないためにはどうすればいいんだろう？と考えましょう。

また、勉強は、量ではなく質！を心がけてください。努力は必ず報われます。

英語

英語をたくさん聞こう♪

〈英語〉指導者 関口和子

来年度、小学校では3年生から本格的に英語学習が始まります。小学校から英語を勉強することで、英語独特の音感やリズムに慣れ親しみやすくなり、コミュニケーションにも役立つはずですよ。

では、中学生になってしまったら音感は身につかないのでしょうか？ いいえ。中学生だからこ

そ、英語の歌に触れたり、YouTubeなどの配信を使ったり、また外国人の友人を作ったりして、日常生活のなかで積極的に英語と触れる機会を作ることができるはずですよ。

英語学習に対する態度や姿勢を変え、英語をたくさん聞いてみることで、さらに英語の音感が身につくこと間違いなし！と確信しています。

事務局より

インフォメーション
information

昨年度獲得した大和證券福祉財団の助成金によって、夏休み自立学習教室の教材（英語リスニングCDプレイヤー・問題集等）が多種にわたって購入でき、当法人にとって十分な備品の確保ができました。今年度も、応募を続けます。

夏休み自立学習教室は、8月19日～24日の6日間、午後5時～8時の3時間。4日以上出席できる生徒を対象に募集したところ33名中25名参加、指導者は協力者をふくめ17名での実施となりました。途中休憩では軽食・飲料が提供されて生徒間のコミュニケーションも図れ、たいへん有意義な勉強会になりました。

少子化のためか、生徒数が減少しております。お知り合いに、該当する方がいらっしゃいましたら、ぜひ、当寺子屋についてご紹介ください。

無料学習塾 NPO法人 稲門寺子屋西東京

稲門寺子屋西東京では、経済的理由などで塾に通っていない、家庭教師に教わっていない小学生・中学生を対象に、授業料無料で学習指導を行っています。

指導は、受験を目的としたものではなく、学校の授業の補習が中心です。

学習に励む児童・生徒を、保護者・指導者・寄付者・会員が協力してサポートします。

くわしくは……
以下のホームページをごらんください。

<https://www.terakoya-nt.org/>

または……以下で検索を。

寺子屋 西東京

検索